



## DEPI 遅延測定

このドキュメントでは、Cisco cBR シリーズ コンバージドブロードバンドルータ上で DEPI 遅延測定を設定する方法について説明します。

### 機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このマニュアルの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://tools.cisco.com/ITDIT/CFN/> からアクセスできます。<http://www.cisco.com/> のアカウントは必要ありません。

- [Cisco リモート PHY デバイスのハードウェア互換性マトリックス, 1 ページ](#)
- [DEPI 遅延測定に関する情報, 2 ページ](#)
- [DLM の設定方法, 2 ページ](#)
- [例 : DLM の設定, 3 ページ](#)
- [DLM の機能情報, 3 ページ](#)

## Cisco リモート PHY デバイスのハードウェア互換性マトリックス



(注) Cisco リモート PHY デバイスのあるリリースで導入されたハードウェア コンポーネントは、特に明記しない限り、それ以降のすべてのリリースでもサポートされます。

表 1: Cisco リモート PHY デバイスのハードウェア互換性マトリックス

Cisco HFC プラットフォーム	リモート PHY デバイス
Cisco GS7000 ノード	Cisco RPD IOS 1.1 以降のリリース シスコ リモート PHY デバイス 1x2 • PID—RPD-1X2=

## DEPI 遅延測定に関する情報

DEPI 遅延測定 (DLM) パケットは、CCAP コアと RPD 間のネットワーク遅延の測定に使用される特定のデータ パケット タイプです。DLM パケットには、入力 DLM パケットと出力 DLM パケットの 2 種類があります。入力 DLM は CCAP コアと RPD の入力点間の遅延を測定し、出力 DLM は CCAP コアと RPD の出力点間の遅延を測定します。現在、入力 DLM のみサポートされています。必要に応じて将来、出力 DLM がサポートされる予定です。

## DLM の設定方法

ここでは、Cisco cBR-8 上での DLM の設定方法について説明します。

## DLM の設定

DLM を設定するには、次の手順を実行します。DLM はデフォルトで無効になっており、設定された場合にのみ有効になります。

```
configure terminal
cable rpd name
core-interface interface_name
network-delay dlm interval_in_seconds
```

## DLM の設定の確認

DLM の設定を確認するには、次の例に示すように、**show cable rpd dlm** コマンドを使用します。

```
Router# show cable rpd 0000.bbaa.0002 dlm
Load for five secs: 4%/1%; one minute: 4%; five minutes: 4%
Time source is NTP, 13:12:36.253 CST Sun Jan 1 2017
DEPI Latency Measurement (ticks) for 0000.bbaa.0002
Last Average DLM: 4993
Average DLM (last 10 samples): 4990
Max DLM since system on: 5199
Min DLM since system on: 4800
Sample # Latency (usecs)
x-----x-----
0 491
1 496
```

```

2          485
3          492
4          499
5          505
6          477
7          474
8          478
9          471

```

以下の表には、このコマンドで表示されるフィールドの説明を示します。

表 2: `show cable rpd dlm` フィールドの説明

フィールド	説明
最終平均 DLM	これは最終平均 DLM (AD) を表します。最初は、最終平均 DLM (LAD) は常に 0 です。 (LAD-AD) の絶対値が 75 us 以上になると、LAD は AD の値になるように更新され、MAP の前進は更新され、AD は最後の (最新の) 10 サンプルで更新し続けます。

## 例：DLM の設定

次の例は、DLM を設定する方法を示しています。

```

Router# configure terminal
Router(config)#cable rpd 1
Router(config-rpd)#core-interface tenGigabitEthernet 3/1/0
Router(config-rpd-core)#network-delay dlm 10

```

## DLM の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースのみを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 3: **DLM** の機能情報

機能名	リリース	機能情報
DEPI 遅延測定	Cisco IOS XE Everest 16.5.1	この機能が Cisco cBR シリーズ コンバージドブロードバンド ルータに追加されました。

